

が組み込まれて生徒の学力低下につながると思うが。

答 県教育委員会からも部活動について、「生徒の体を守る」ということが重要視されており、毎日続けることが競技力を高めることにもつながらないので、休養日は必要であり継続していく。基礎的な学力は、傾向を分析しながら教職員も研究して各生徒の学力を伸ばしていきたい。

問 片山保育園建設に伴う土地利用計画の作成業務内容は。

答 片山保育園の建設計画をする中で、地方創生事業関連で子育て・就労応援センターの建設が採択された経緯がある。この両施設を一体的に整備する場合には、早急に建築確認の許可を得る必要があり専門家に外部委託していく。

地方創生特別委員会

問 池野駅に移動したレンタ

サイクル10台は目立たない場所であるが。

答 駅舎に一番近い駐輪場は養老線利用者の自転車が多く使用されているため置き場を検討していく。

問 霞渓舎にあるトイレ外側の使用中の赤ランプは、使用後に消灯するまで1分40秒を要するが。

答 設定は最小時間にしてあるが、調査し改善を図る。

問 子育て・就労応援センター建設の役割と支援する度合いは。

答 既設の八幡児童館の移転と子育て支援センター新設に加え、子育て中の母親などの就労を応援するため、八ローワークや県の関係機関との連携および地元企業にも求人者の協力依頼をしていく。

問 就労応援センター開設に伴い町職員は配置するのか。

答 出産と子育てのために離職して復職が困難であること、就職活動の際に子ども

を預かってもらう場所がないなどの相談が多く寄せられている。就労応援には専門的な知識を持たれた方、1名を正職員として、臨時パートは2名から3名とする配置計画を考えている。

問 キャリア教育コーディネーターは新規に育成するのか。また、配置先の学校は。

答 現在も依頼しているコーディネーター2名をスキルアップするための研修費や旅費を援助している。池田中学校で活動し、1週間に1日は情報交流のため町教育センターで勤務する。

問 ショートフィルム・YouTubeを活用した動画作成について多数の募集はできないのか。

答 毎年、町民メンバーを公募しており、今回の3名は、ドローンを所有され撮影に興味があるので、ストーリー作品として職員も加わり、試験的に2作品を仕上げていく。

養老鉄道存続特別委員会

◎ 審査案件

一・養老線の事業形態の移行等について

二・養老線交通圏地域公共交通網形成計画（素案）に対するパブリック・コメントの結果について

三・養老線交通圏地域公共交通網形成計画（案）の概要について

四・養老鉄道養老線 鉄道事業再構築実施計画（案）について

問 大垣市と池田町から出されたパブリック・コメントの「子育て世帯を対象とした優遇施策を追加」する回答は、沿線7市町が各町村単独なのか。

答 平成29年度以降に養老線管理機構を進めていき、単独、共同も含めて検討していく。

問 パブリック・コメントによる意見数が、池田町は1人で4件、全体でも31人、

98件と少数であると思うが。多数の意見は必要であるが、限られた期間の中で実施したので少なかった。

問 再構築事業の実施に必要な資金として、10年間合計の負担額81億4,400万円と10年後収支予測の沿線7市町の補助金78億9,493万円の差異は。

答 養老線支援基金を活用して、中古の15車両を2億4,900万円で購入し、設備投資する計画である。

問 養老線管理機構の人員費が伴う社員数と平均給与額は。

答 平成29年度は、全社員数が84名で、そのうち正社員が67名を、10年後には全社員数87名となるが、そのうち正社員は37名に抑えて人員費を下げていく。

初年度の平均給与は約800万円、10年後は約700万円の計画である。